

## NaCl と KCl 電解による電解次亜塩素酸水の液性測定試験結果

### 【目的】

特定防除資材として申請している装置は本来厨房用の NaCl 電解を目的とした装置である。そこで、同装置で KCl を電解した場合の電解次亜塩素酸水の主要要因である pH と有効塩素濃度がどの程度異なるかを測定する。

### 【結論】

以下に示す通り、NaCl 電解と KCl 電解では生成水の pH、有効塩素濃度に差はなかったことから、同装置を特定防除資材用に流用することは可能である。

(試験レポート No.6G1A0-T-37078)

試験年月日：平成 16 年 9 月

### 試験条件

装置：ROX-15SA

原水：豊明市水道水

助剤：塩化カリウム（米山薬品工業社製、KCl 99.0%以上）

食塩（塩事業センター、NaCl 99.5%以上）

電源：100 V, 60 Hz

流量：1.5 (l/min)

室温：30±5℃

水温：水道水温（25℃）

場所：ホシザキ電機(株)農業用ハウス内

pH：2.55

有効塩素濃度：55.0 (mg/kg)

試験責任者：阿知波信夫

試験担当者：齊藤洋介

pH 測定：pH メーター HM-10P (TOA 社製)

有効塩素濃度測定：ヨウ素滴定法